

視野検査とは・・・

顔や目を動かさずまっすぐ前方を見たとき、上下左右にどれくらいの範囲が見えているか(視野)を調べる検査です。

視野検査でわかる主な病気

- 緑内障：最も代表的な疾患。初期の自覚症状のない視野の欠けを発見します。
- 網膜の病気：網膜剥離、糖尿病網膜症、網膜色素変性症などの進行度を把握します。

**緑内障のリスクが高まるのは
40歳以上から！**



FDTスクリーナーの検査結果の表れ方

眼の神経には大きく分けて色・形・視力にかかわる細胞と、物の動き・ちらつきなどにかかわる細胞があります。FDTは、この"ちらつき"に反応する神経細胞が障害された場合に結果に影響が出ます。

